

氏名	小池 祐士	部署	作業療法学科	職名	准教授
研究分野	作業療法・福祉用具・アームロボット・排泄・ADL・地域・リハビリテーション・3Dプリンタ				
学位	博士（保健学）				
学歴	2007年 弘前大学医学部保健学科作業療法学専攻 卒業 2009年 弘前大学大学院保健学研究科 博士前期課程 修了 2015年 弘前大学大学院保健学研究科 博士後期課程 修了				
経歴	2011年 弘前大学大学院 保健学研究科 助手 2015年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 作業療法学科 助教 2024年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 作業療法学科 准教授				
所属学会 （役職）	世界作業療法士連盟，日本作業療法士協会，埼玉県作業療法士会（理事），理学療法科学学会，日本公衆衛生学会，日本AMPS研究会，A-ONE研究会，認知神経リハビリテーション学会，日本老年療法学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	基礎作業学 第4版	共著	あり	医学書院		濱口豊太（編），小池祐士，他	2024.12
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Comparisons of Learning Effectiveness of Therapeutic Motion Techniques: Practicing with an Educational Hemiplegic Robot Arm versus Practicing with Other Students	共著	あり	○	Applied Sciences, 14(18), 8498-8498	Yuji Koike, Akihisa Okino, Yasuhiro Takanami, Toyohiro Hamaguchi	2024.09
2	Correlation between fall experience and life functions among community-dwelling older adults in Japan	共著	あり	○	Dialogues in Health, 5, 100198-100198	Koshi Sumigawa, Yuji Koike	2024.12
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	Comparisons of Learning Effectiveness of Therapeutic Motion Techniques for Different Symptoms: Practice with an Educational Hemiplegic Arm Robot Versus Practice with Students	共同	The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024（Sapporo）		○Yuji Koike, Akihisa Okino, Yasuhiro Takanami, Toyohiro Hamaguchi		2024.11
2	高齢者の歩行時の視線特性の解析	共同	第58回日本作業療法学会（札幌）		○澄川幸志，小池祐士		2024.11
3	3Dプリンタを活用した作業療法教育プログラムの2年間の効果	共同	第58回日本作業療法学会（札幌）		○押野修司，小池祐士，久保田富夫		2024.11
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	アームロボットを用いた用手運動療法の教育シミュレータ開発と教育効果の新規的検証			研究代表者		2020.04-2025.03
2	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	通所介護における社会的自立を促進する自立支援型機能訓練マネジメントモデルの構築			研究分担者		2021.04-2025.03

3	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	認知機能に障害のある高齢者における歩行時の視線特性を活かした転倒予防策の考案	研究分担者	2023.04-2027.03
4	共同研究（住商モンブラン株式会社）	高次脳機能障害者のリハビリテーション行為をサポートする機能的衣服の開発	研究代表者	2025.01-2025.12
5	共同研究（埼玉大学）	カスタマイズ可能な個人用補助器具を製作するための3Dプリンティングに関する研究	研究代表者	2024.06-2025.03
6	共同研究（株式会社ひいらぎ）	3Dプリンタを活用したオーダーメイドな自助具が障害者の社会参加促進に与える効果	研究代表者	2024.07-2025.06
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	高次脳機能作業療法学 （学部：2年）	○	8	高次脳機能障害について，高次脳機能障害の作業療法について講義を行った．
2	高次脳機能作業療法評価学 （学部：2年）	○	8	高次脳機能障害の評価について，講義・演習を行った．
3	高次脳機能作業療法学特講 （学部：4年）	○	15	高次脳機能障害者を対象とした就労支援に関する講義・実習を行った．また，地域で生活する高次脳機能障害者と交流した．
4	地域作業療法学 （学部：3年）		4	地域作業療法学に関する知識・技術について，講義を行った．また，障害のある当事者を招き，講演サポートを行った．
5	リハビリテーション教育学Ⅰ （大学院博士前期／博士後期）		1	ハラスメントの事例について，講義・演習を行った．
6	リハビリテーション教育学Ⅱ （大学院博士前期／博士後期）		1	臨床実習の変遷，クリニカルクラークシップなどについて，講義・演習を行った．
7	機能適用支援系作業療法学特論 （大学院博士前期）		1	ロボティクスリハビリテーションに関する研究について，講義を行った
8	生活環境支援系作業療法学特論 （大学院博士前期）		1	ADLに関する研究について，講義を行った．
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	作業療法総合演習 （学部：4年）		15	国家試験に関するサポートを行った．
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	身体機能作業療法評価学実習 （学部：2年）		2	作業療法に関する評価技術について，実技試験を行った．
2	日常生活活動学実習 （学部：3年）		6	基本動作・食事・排泄などの日常生活に関する知識・技術について，講義・実習を行った．
3	ヒューマンケア体験実習 （学部：1年）		4	グループの学生へのオリエンテーションや，学内実習でのファシリテーション，報告会のサポートを行った．
4	臨床作業療法技能実習 （学部：2年）		6	作業療法に関する臨床実習に必要な知識や技術等の指導のサポートを行った．
5	作業分析学実習 （学部：2年）		12	3Dプリンタを活用した自助具に関する講義・実習を行った．
6	義肢・装具学実習 （学部：3年）		3	3Dプリンタを活用した自助具に関する実習のサポートを行った．
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.04-2024.11	主指導 7名	副指導 名
2	修士論文	2024.04-2025.03	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 2名

(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	作業療法研究法 (学部：3年)	2024.06-2025.03	3Dプリンタでの自助具開発に関する講義，作製の指導を行った.	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県作業療法士会 臨床実習指導者講習会	埼玉県作業療法士会	臨床実習指導者講習会	2024.07
2	オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	3Dプリンタを使ってみよう（小学生）	2024.07
3	リアル体験教室	埼玉県	3Dプリンタを使う作業療法士になりたい	2024.07
4	オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	3Dプリンタを使ってみよう（小学生）	2024.08
5	オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	3Dプリンタを使った作業療法（中学生）	2024.08
6	子ども会イベント	埼玉県立大学	3Dプリンタを使ってみよう（千間台西二丁目自治会 子ども会）	2024.08
7	オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	3Dプリンタを使った作業療法（高校生）	2024.07
8	オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	3Dプリンタを使った授業体験（学校教員）	2024.08
9	現職者共通研修	埼玉県作業療法士会	作業療法の可能性	2024.08
10	3D-CAD超入門コース特別編「知恵と工夫で自助具作成コース」	埼玉大学	3Dプリンタを活用したリハビリテーション	2024.09
11	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（保健医療福祉専門職）	2024.09
12	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（卒業生：東京慈恵会医科大学）	2024.09
13	日本作業療法士協会 認定作業療法士取得研修	日本作業療法士協会	身体障害	2024.09
14	東部ブロック研修会	埼玉県作業療法士会	脳血管障害のADLー臨床推論と介入方法	2024.09
15	埼玉県 高齢者元気力アップ応援事業所認証事業 通所介護事業所向け研修	埼玉県	生活行為の課題分析	2024.11
16	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（保健医療福祉専門職：初台リハビリテーション病院）	2024.11
17	埼玉県 高齢者元気力アップ応援事業所認証事業 通所介護事業所向け研修	埼玉県	LIFEを意識した目標設定，生活行為の細分化，プログラム立案	2024.12
18	東京都リハビリテーション病院研修会	東京都リハビリテーション病院	3Dプリンタを活用したリハビリテーション	2024.12
19	東部ブロック研修会	埼玉県作業療法士会	実は知らない？！社会保障と任意保険	2024.12
20	東部ブロック研修会	埼玉県作業療法士会	キャリアプランの作り方	2025.01
21	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（保健医療福祉専門職：国立病院機構 埼玉病院）	2025.02
22	高次脳機能障害啓発講座～考えよう 脳の障害・当事者の思い～	品川区障害者地域活動支援センター 逢「あえる」	生活の工夫・支援方法は？～訓練を体験してみよう～	2025.02
23	高次脳機能障害啓発講座～考えよう 脳の障害・当事者の思い～	品川区障害者地域活動支援センター 逢「あえる」	高次脳機能障害 当事者のお話	2025.02
24	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	現場で使える3Dプリンタの活用法（保健医療福祉専門職：新越谷病院）	2025.03
25	東部ブロック研修会	埼玉県作業療法士会	臨床実習＆就職前 相談会	2025.03
26	高等教育における3Dプリンタの活用 作業療法学科活用事例	ICTリハビリテーション研究会	高等教育における3Dプリンタの活用 作業療法学科活用事例	2025.03

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県作業療法士会	理事・東部ブロック長	2015.06～現在
2	埼玉県作業療法士会	埼玉県作業療法学会査読委員	2019.11～現在
3	日本作業療法士協会	学会演題査読委員	2014.12～現在
4	日本作業療法士協会	事例報告登録制度審査委員	2016.09～現在
5	日本作業療法士協会	代議員	2016.09～現在
6	日本作業療法士協会	学術誌「作業療法」査読者	2019.04～現在
7	埼玉県作業療法士会	学会支援委員会 委員長	2021.06～現在
8	NPO法人 スコップ	副代表	2022.12～現在
9	ICTリハビリテーション研究会	3Dプリント自助具デザインコンテスト 実行委員	2023.04～現在
10	日本老年療法学会	教育委員	2023.07～現在
11	全国リハビリテーション学校協会	「リハビリテーション教育研究」査読者	2023.10～現在
12	ICTリハビリテーション研究会	理事	2025.01～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	地域貢献活動	アルファクラブ武蔵野株式会社	ベルヴィ 春日部／越谷食堂の企画・運営 2020.4～現在
2	地域貢献活動	失語症者（越谷市）	失語症当事者の会「のんびり おしゃべりしようね会」支援 2023.09～現在
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学科等における委員会等	学科ホームページ委員	2016.4～現在
2	学科等における委員会等	ヒューマンケア実習室担当者	2016.4～現在
3	学生支援	国家試験対策の支援	2015.4～現在
4	学生支援	就職等の相談・支援	2015.4～現在
5	全学的委員会及びセンター業務等	ヒューマンケア実習室管理部会 部員	2021.6～現在
6	全学的委員会及びセンター業務等	奨励研究部会 部員	2024.4～現在
7	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会 委員	2024.4～現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	病態解析装置とそれを用いたリハビリテーション技術教育装置	特許第6307210号	2018.03～現在
2	紐引き股割れパンツ－脳卒中片麻痺者用－	特許第6372882号	2018.07～現在
8. 特記事項			
1	該当なし		